

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公表番号】特表2010-511063(P2010-511063A)

【公表日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2010-014

【出願番号】特願2009-539485(P2009-539485)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/506	(2006.01)
C 0 7 D	401/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/506	
C 0 7 D	401/04	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	7/00	

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

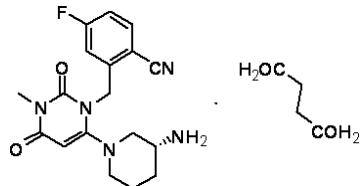
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の式を有する化合物 I :

【化 1】

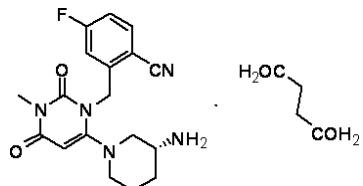


(ここで、化合物 I の一部分は、多形形態 A として存在する。) の調製方法であって、以下からなる群から選択される溶媒系から化合物 I を結晶化することを含む方法：(i) アセトン、(i i) アセトニトリル、(i i i) ジクロロメタン、(i v) 1，4 - ジオキサン、(v) ジメチルホルムアミド、(v i) メタノール、(v i i) 酢酸エチル、(v i i i) ジエチルエーテル、(i x) ヘキサン；(x) メタノール、(x i) イソプロパノール、(x i i) テトラヒドロフラン、(x i i i) トルエン、(x i v) トリフルオロエタノール、(x v) 水、(x v i) アセトニトリル：水(85 : 15)、(x v i i) エタノール：水(95 : 5)、(x v i i i) イソプロパノール：水(88 : 12)、及び(x i x) テトラヒドロフラン：水(9 : 1)。

【請求項 2】

以下の式を有する化合物 I :

【化 2】



(ここで、化合物 I の一部分は、多形形態 A として存在する。) の調製方法であって、溶媒中に溶解した化合物 I に、混和性貧溶媒を添加することを含む方法(ここで溶媒 / 貧溶媒は、(i) ジメチルホルムアミド / アセトニトリル、(i i) ジメチルホルムアミド / トルエン、(i i i) ジメチルホルムアミド / 酢酸エチル、(i v) ジメチルホルムアミド / イソプロパノール、(v) メタノール / アセトニトリル、(v) メタノール / ジクロロメタン、(v i) トリフルオロエタノール / イソプロパノール、(v i i) トリフルオロエタノール / アセトニトリル、(v i i i) トリフルオロエタノール / 酢酸エチル、(i x) 水 / アセトニトリル、及び(x) 水 / テトラヒドロフランからなる群から選択される)。